2016年1月28日

北海道大学連合同窓会のあり方検討委員会･最終報告の公表 （お知らせ）

１　経緯等

□□2014年6月の北海道大学連合同窓会総会において、連合同窓会をより実質的な全学組織として再構築すべきとの提案に基づき「北海道大学連合同窓会のあり方検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を設置することが了承されました。

□□その後、検討委員会は、2015年1月から2016年1月まで1年間にわたって真摯に議論を重ねてまいりましたが、今般、新たな組織の枠組み及びその活動内容に関する基本的な考え方を最終報告として取りまとめましたので、お知らせいたします。

２　最終報告のポイント

（１）新たな組織の必要性及び方向性

□□学部・地区等同窓会の垣根を越えた横断的な連携関係を構築するとともに、卒業生に加え、教職員、在学生、さらには保護者等を含めた全ての関係者で構成する新たな全学的な組織を設立して大学への支援体制と新たな協働・連携を創造していく必要があるとの認識で一致しました。

（２）新たな組織の枠組み

□□新たな全学的な組織における①会員の範囲、名称、組織形態等の基本要素、②会費その他の収入源による財政基盤、③事務局の体制、学部、地区等同窓会との関係、支部等の組織整備のあり方を提示しました。

（３）新たな組織がめざす役割と事業活動

□□新たな全学的な組織においては、以下の６つの活動に積極的に取り組むことを提示しました。

１）「整備」する□＝会員情報の整備活動
２）「支援」する□＝在学生、卒業生等への支援活動
３）「交流」する□＝会員間の交流活動
４）「発信」する□＝情報発信及び広報活動
５）「研鑽」する□＝学内外への教育啓発活動
６）「提言」する□＝重要課題への提言活動

（４）今後の対応

□□本報告に盛り込まれた内容を踏まえ、広く北大関係者の叡智を結集することにより、2016年半ばを目途に新たな全学的な組織「北海道大学校友会（仮称）」の設立を目指すものとします。

以上

＜添付資料＞

・北海道大学連合同窓会のあり方検討委員会・最終報告　（pdf）

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□■連絡先
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□国立大学法人北海道大学
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□総務企画部広報課
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□地域連携・基金事務担当
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□専門員□平林□晴樹
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□TEL 011-706-2012, 2072
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□FAX 011-706-2092